重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: モーア、畜力モーア改造型機	現地の通称:

資料種別: ◉製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他

資料種類:	☐人力用具	☐手押式	☐耕耘用	☐調製用
	☐畜力用具	☐乗用式	☐施肥播種	☐施設類
	☐原動機具	☐牽引式	☐管理用	☐機素
	☐トラクタ具	☐定置式	☐収穫用	☐その他

管理プレートNo.

台帳No.

相手先番号等

配置位置メモ

脱稈室110

製作者・会社:

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年:

使用目的・使用方法等

本来は畜力モーアであるが、畜力用のドローバを取り外してトラクタ牽引用に改造

利用経過_収集記録_意義等

（前頁畜力モーア改造機より続く）　畜力モーアの国産化では、札幌の高橋鉄工、豊平農機などが手掛けた。さらに1934年に北海道第２次拓殖計画の改定、樺太拓殖計画の樹立と満州国成立と開発気運向上が重なって国産農機具の輸出が増加に転じたため、ある文献は「農機産業が益々躍進し、前途洋々たるものあり」と書いた。
第２次大戦後は、豊平農機（現スター農機）と戦時統制下で誕生した大企業の北海道農機具工業（1957年解散）が粗飼料生産機械全般に亘って製造し、全酪農家に普及させた。

仕様書_解説等

右に全体図

本項は、右写真の奥側機種

外観特色関連図等

資料の所在

収穫調製室

資料管理経過

作業メモ・追記文

台帳管理番号 S711